

ばんしん景況レポート

〒670-0962
姫路市南駅前町110番地
播州信用金庫

中小企業景気動向調査 2022年1月～3月期 NO. 66

照会先 経営企画部
TEL 079-280-3398(直通)
FAX 079-281-4667

【概況】 2022年1月～3月期の業況は▲9.4、前期比 5.2ポイントマイナスと低迷しました。
来期は両地域とも上向き見通しです。

景気動向調査主要指数D.I（総合）

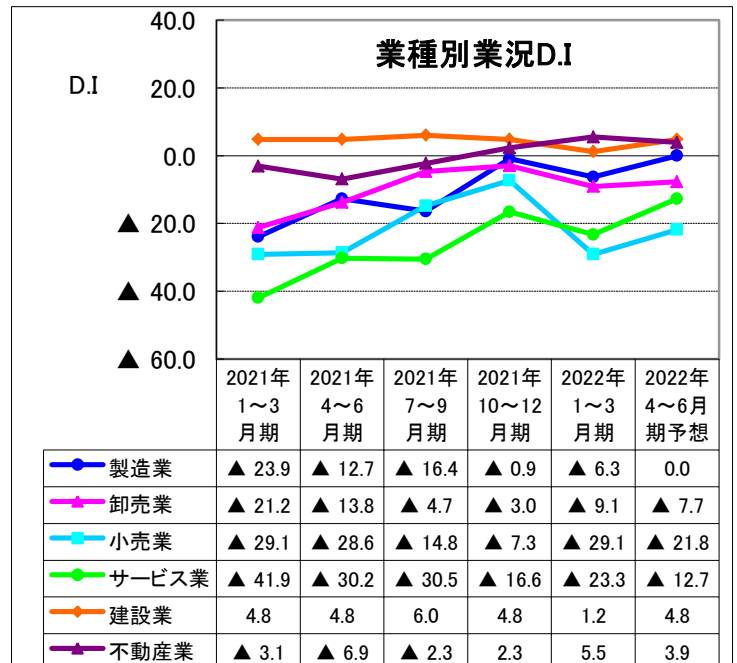
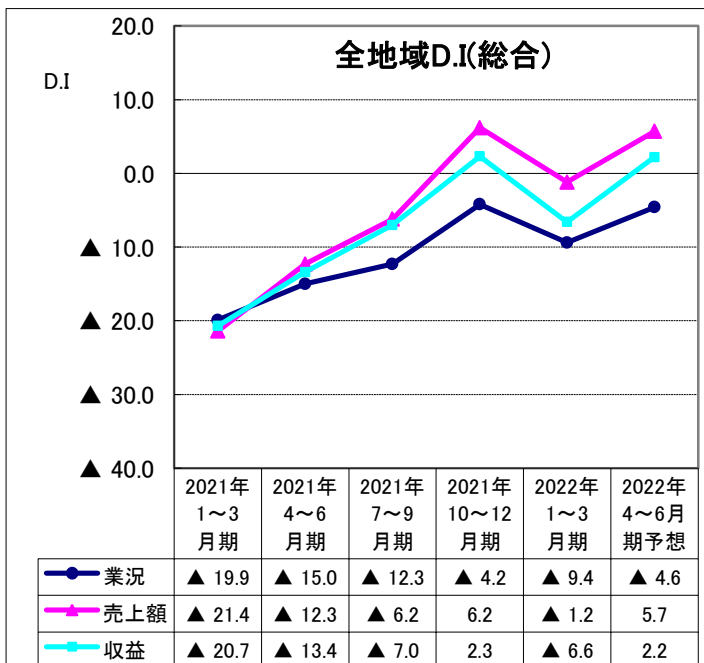
項目	全地域			姫路地域			神戸地域		
	2021年10月～12月期	2022年1月～3月期	2022年4月～6月期予想	2021年10月～12月期	2022年1月～3月期	2022年4月～6月期予想	2021年10月～12月期	2022年1月～3月期	2022年4月～6月期予想
業況	▲ 4.2	▲ 9.4	▲ 4.6	▲ 5.2	▲ 12.2	▲ 4.4	▲ 0.4	▲ 6.3	▲ 3.7
売上額	6.2	▲ 1.2	5.7	3.7	0.4	9.2	12.0	▲ 1.1	5.5
収益	2.3	▲ 6.6	2.2	0.0	▲ 8.1	1.5	6.5	▲ 4.8	3.3
販売価格	12.9	11.5	12.6	12.6	14.0	15.1	13.4	8.1	9.2
仕入価格	35.3	40.7	33.2	39.8	45.2	39.5	29.5	33.8	25.0
在庫	▲ 3.6	▲ 2.0	▲ 2.7	▲ 5.9	▲ 1.5	▲ 2.0	▲ 3.6	▲ 6.2	▲ 5.2
資金繰り	1.7	▲ 1.3	10.6	3.7	▲ 0.7	12.9	1.1	▲ 1.1	8.9
人手	▲ 18.2	▲ 15.7	▲ 15.7	▲ 24.8	▲ 22.1	▲ 21.0	▲ 11.3	▲ 9.9	▲ 10.0
設備状況	▲ 5.8	▲ 6.9	▲ 8.0	▲ 3.9	▲ 4.3	▲ 5.6	▲ 7.9	▲ 10.2	▲ 9.7

2022年1月～3月期実績

《 不動産業で上向き 》
当期の全地域の全業況D.Iは▲9.4、前期比5.2ポイントマイナスと低迷しました。
全地域の業種別では不動産業において上向きました。

2022年4月～6月期見通し

《 両地域とも上向き見通し 》
来期の全地域の全業種予想業況D.Iは▲4.6、当期比4.8ポイントプラスと上向き見通しです。
全地域の業種別では、不動産業以外の業種において上向き見通しです。
地域別では、両地域とも上向き見通しです。



調査要領

1. 調査目的

当金庫営業地域内の景気動向を把握し、お取引先の経営者の皆様に景気に関する情報提供をおこない、経営にお役立ていただくことを目的としています。

2. 調査時期

2022年3月上旬

3. 調査対象期間

2022年1月～3月期実績（2021年10月～12月期との比較）

2022年4月～6月期予想（2022年1月～3月期実績との比較）

4. 調査方法

調査員による「面接聞き取り調査」

5. 分析方法

本調査はD.I（ディフュージョン・インデックス）による分析

D.Iとは、景気が「良い」、「増加」、「上昇」、「過剰」、「楽」と回答した企業の割合から「悪い」、「減少」、「下降」、「不足」、「苦しい」と回答した企業の割合を差し引いた構成比差から景気の方角を判断する指数です。

6. 調査地域

姫路地域・・・姫路地区（姫路市）

東播地区（加古川市・高砂市・三木市・稲美町）

西播地区（赤穂市・相生市・たつの市・太子町）

北播地区（加西市・福崎町）

神戸地域・・・神戸地区（神戸市・西宮市・尼崎市・宝塚市・伊丹市）

明石地区（明石市・神戸市西区）

※調査地域については、上記地区に所在する当金庫支店を基準とした地域設定であります。

調査先および回答状況

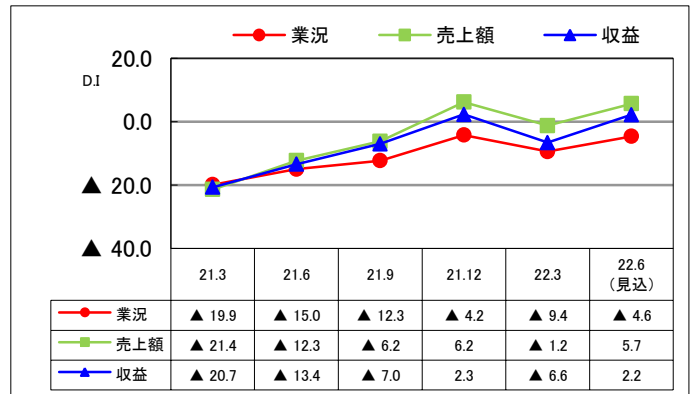
	依頼数	回答数	回答率
製造業	112	112	100.0%
卸売業	67	66	98.5%
小売業	55	55	100.0%
サービス業	151	150	99.3%
建設業	84	84	100.0%
不動産業	131	129	98.4%
合計	600	596	99.3%

本レポートは、標記時点における情報提供のみを目的としたものであります。したがって投資等や施策実施に関する最終決定はご自身の判断でなされるようお願いいたします。また、本レポート掲載資料については、当金庫が信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、その情報の正確性および完全性について当金庫が保証するものではありません。

1. 業況

全業種における業況D.Iは▲9.4、前期比5.2ポイントマイナス（前年同期比+10.5）と低迷しました。業種別では、不動産業において上向きしました。

来期予想D.Iは▲4.6、当期比4.8ポイントプラスと上向き見通しです。業種別では、不動産業以外の業種において上向き見通しです。



2. 売上額

全業種における売上額D.Iは▲1.2、前期比7.4ポイントマイナス（前年同期比+20.2）と水面下に落ち込みました。業種別では、全業種において低迷しました。

来期予想D.Iは5.7、当期比6.9ポイントプラスと好転する見通しです。業種別では、全業種において上向き見通しです。

3. 収益

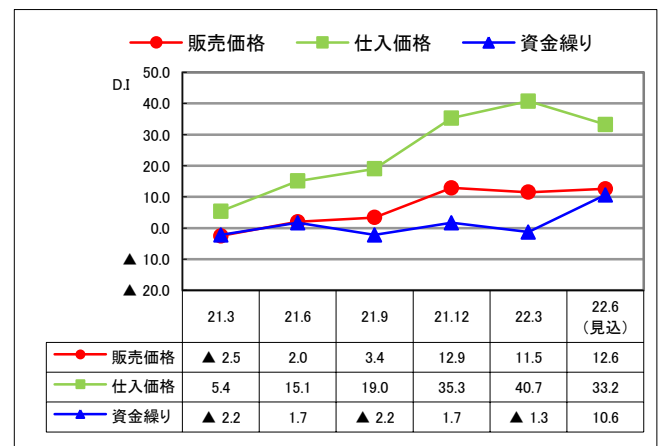
全業種における収益D.Iは▲6.6、前期比8.9ポイントマイナス（前年同期比+14.1）と水面下に落ち込みました。業種別では、全業種において低迷しました。

来期予想D.Iは2.2、当期比8.8ポイントプラスと好転する見通しです。業種別では、全業種において改善する見通しです。

4. 資金繰り

全業種における資金繰りD.Iは▲1.3、前期比3.0ポイントマイナス（前年同期比+0.9）と窮屈感が現れました。業種別では、不動産業において和らぎました。

来期予想D.Iは10.6、当期比11.9ポイントプラスと窮屈感を脱する見通しです。業種別では、全業種において和らぐ見通しです。



5. 販売価格

全業種における販売価格D.Iは11.5、前期比1.4ポイントマイナス（前年同期比+14.0）と上昇幅が縮小しました。業種別では、製造業において上昇しました。

来期予想D.Iは12.6、当期比1.1ポイントプラスと上昇幅が拡大する見通しです。業種別では、卸売業、不動産業において低下する見通しです。

6. 仕入価格

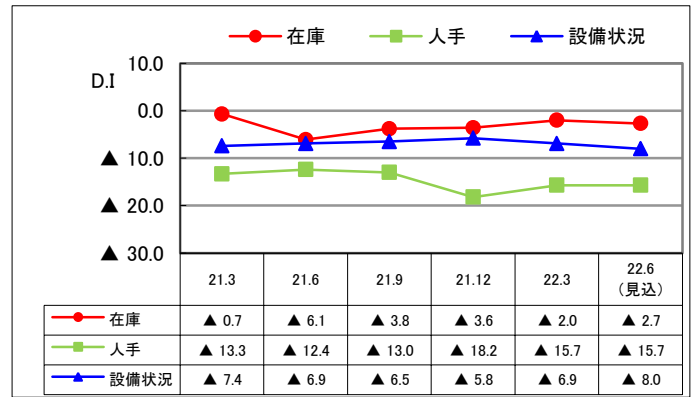
全業種における仕入価格D.Iは40.7、前期比5.4ポイントプラス（前年同期比+35.3）と上昇幅が拡大しました。業種別では、全業種において上昇しました。

来期予想D.Iは33.2、当期比7.5ポイントマイナスと上昇幅が縮小する見通しです。業種別では、全業種において低下する見通しです。

7. 在庫

全業種における在庫D.Iは▲2.0、前期比1.6ポイントプラス（前年同期比 ▲1.3）と不足感が改善しました。業種別では、不動産業で不足感が改善しました。

来期予想D.Iは▲2.7、当期比0.7ポイントマイナスと不足感が強まる見通しです。業種別では、小売業と不動産業で不足感が強まる見通しです。



8. 人手

全業種における人手D.Iは▲15.7、前期比2.5ポイントプラス（前年同期比 ▲2.4）と不足感が改善しました。業種別では、卸売業と建設業、不動産業で不足感が改善しました。

来期予想D.Iは▲15.7、当期と横ばいで推移する見通しです。業種別では、不動産業が当期と横ばいで推移する見通しです。

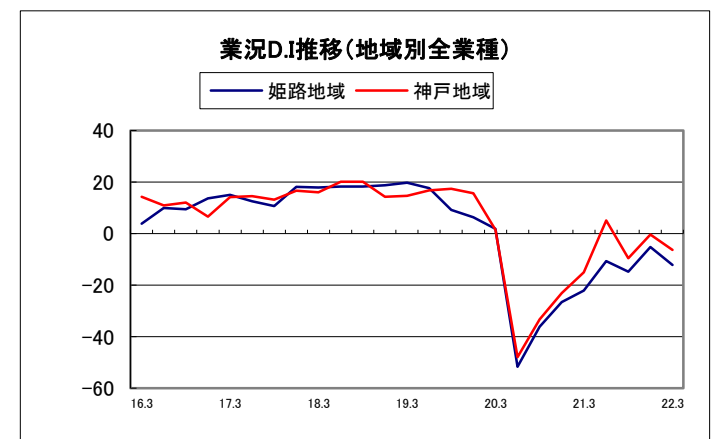
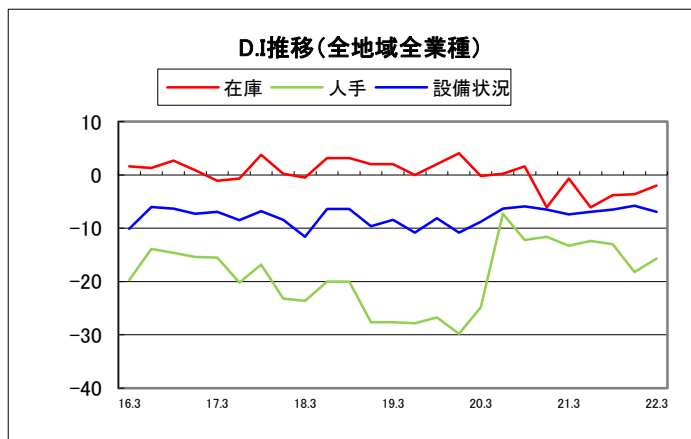
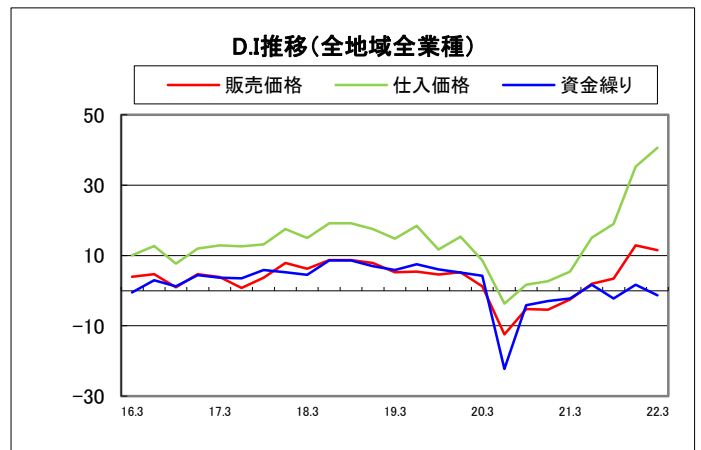
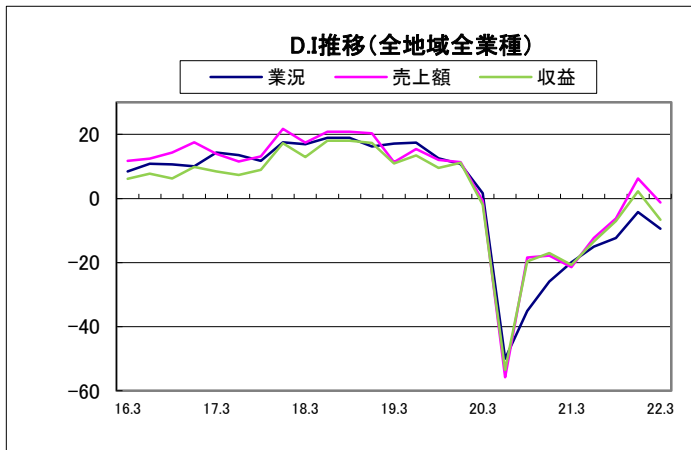
9. 設備状況

全業種における設備状況D.Iは▲6.9、前期比1.1ポイントマイナス（前年同期比+0.5）と低迷しました。

また、設備投資を行ったと回答した企業の割合は32.0%、前期比2.2ポイントプラス（前年同期比6.4）と増加しました。また業種別では、小売業、サービス業において設備投資を行った企業の割合が減少しました。

来期に設備投資を行うと回答した企業の割合は35.3%、当期比増加3.3ポイントプラスと増加する見通しです。

過去D.I推移



地域別景況D. I

□ 全業種総合

(姫路地域) 回答企業323企業 (回答率99.6%)
(神戸地域) 回答企業273企業 (回答率98.9%)

1. 業況

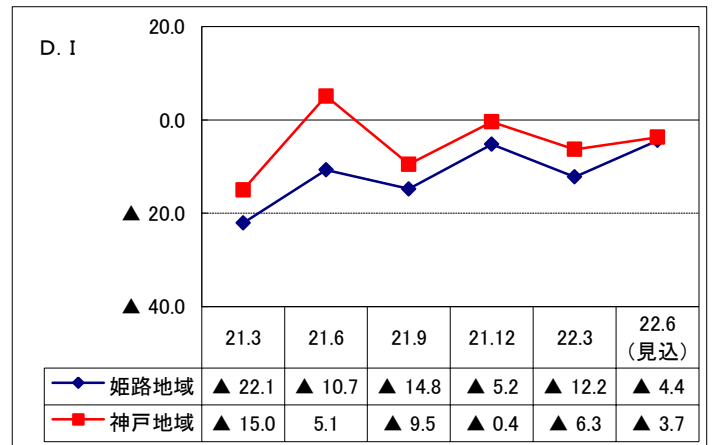
姫路地域の業況D. Iは▲12.2、前期比7.0ポイントマイナス（前年同期比+9.9）と低迷しました。

来期予想D. Iは▲4.4、当期比7.8ポイントプラスと上向き見通しです。

神戸地域の業況D. Iは▲6.3、前期比5.9ポイントマイナス（前年同期比+8.7）と低迷しました。

来期予想D. Iは▲3.7、当期比2.6ポイントプラスと上向き見通しです。

当期の地域別業況は、両地域とも低迷しました。



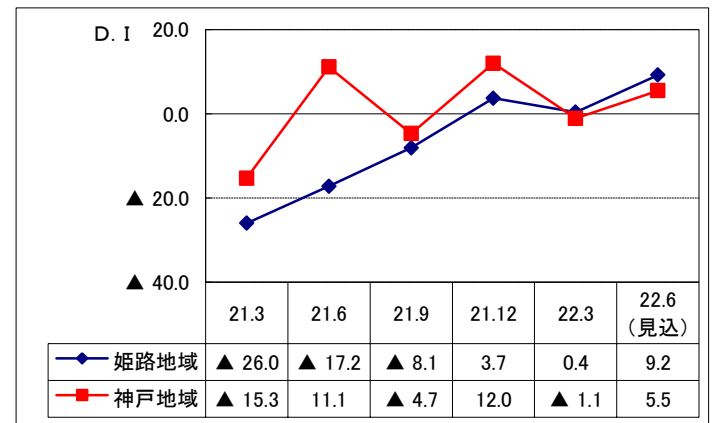
2. 売上額

姫路地域の売上額D. Iは0.4、前期比3.3ポイントマイナス（前年同期比+26.4）と増加幅が縮小しました。

来期予想D. Iは9.2、当期比8.8ポイントプラスと堅調に推移する見通しです。

神戸地域の売上額D. Iは▲1.1、前期比13.1ポイントマイナス（前年同期比+14.2）と水面下に落ち込みました。

来期予想D. Iは5.5、当期比6.6ポイントプラスと好転する見通しです。



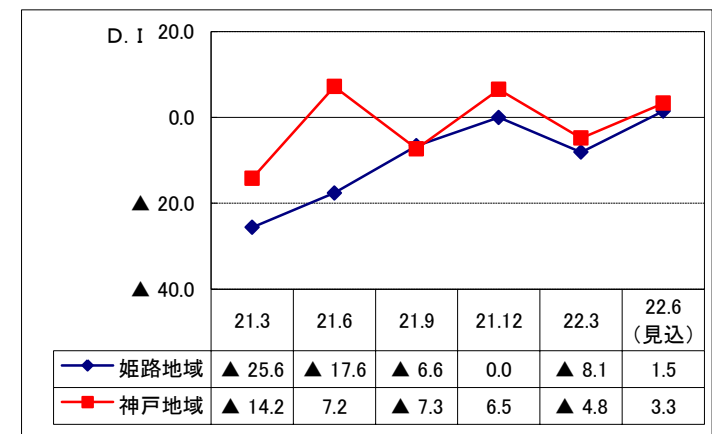
3. 収益

姫路地域の収益D. Iは▲8.1、前期比8.1ポイントマイナス（前年同期比+17.5）と水面下に落ち込みました。

来期予想D. Iは1.5、当期比9.6ポイントプラスと好転する見通しです。

神戸地域の収益D. Iは▲4.8、前期比11.3ポイントマイナス（前年同期比+9.4）と水面下に落ち込みました。

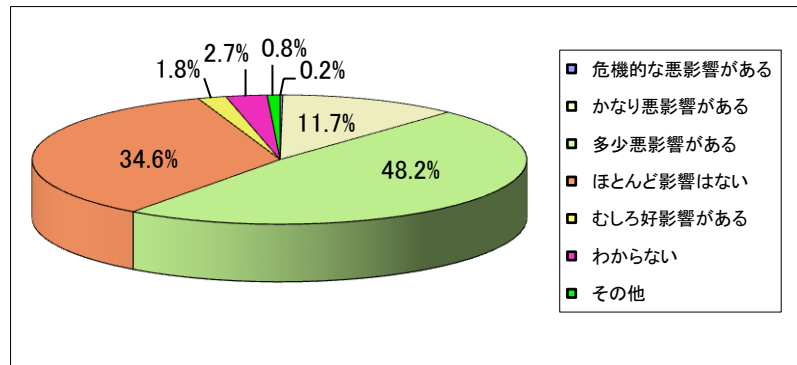
来期予想D. Iは3.3、当期比8.1ポイントプラスと好転する見通しです。



特別調査「原材料・仕入価格の上昇による中小企業への影響について」

問1 貴社では、最近の原材料・仕入価格の上昇により収益にどのような影響を受けていますか。下記の1~7の中から1つ選んでお答えください。

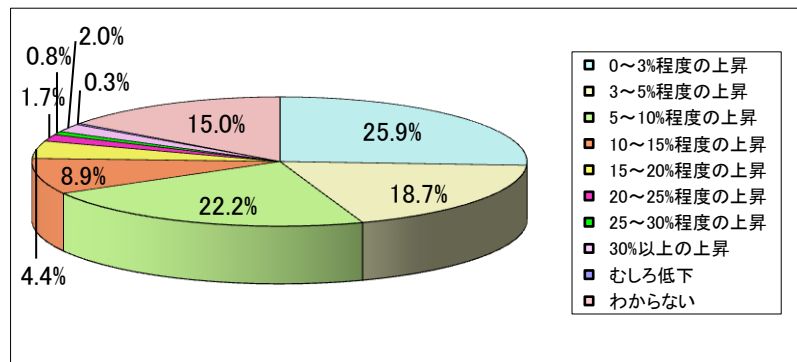
1. 危機的な悪影響がある
2. かなり悪影響がある
3. 多少悪影響がある
4. ほとんど影響はない
5. むしろ好影響がある
6. わからない
7. その他



最近の原材料・仕入価格の上昇により収益にどのような影響を受けていますかについて、最も多い回答は「多少悪影響がある」48.2%、次いで「ほとんど影響はない」34.6%、「かなり悪影響がある」11.7%という結果となりました。

問2 貴社の原材料・仕入価格は、1年前と比較してどの程度変化しましたか。下記の1~0の中から1つ選んでお答えください。

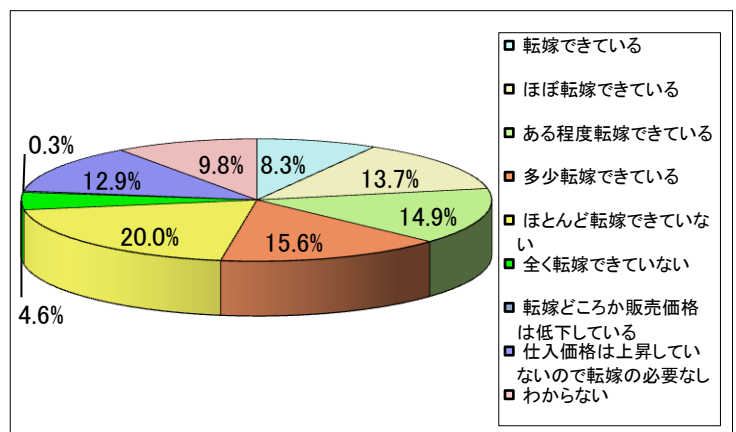
1. 0~3%程度の上昇
2. 3~5%程度の上昇
3. 5~10%程度の上昇
4. 10~15%程度の上昇
5. 15~20%程度の上昇
6. 20~25%程度の上昇
7. 25~30%程度の上昇
8. 30%以上の上昇
9. むしろ低下
0. わからない



原材料・仕入価格は、1年前と比較してどの程度変化しましたかについて、最も多い回答は「0~3%程度の上昇」25.9%、次いで「5~10%程度の上昇」22.2%、「3~5%程度の上昇」18.7%という結果となりました。

問3 貴社では、原材料・仕入価格の上昇のうち、どの程度を販売価格に転嫁できていますか。下記の1~9の中から1つ選んでお答えください。

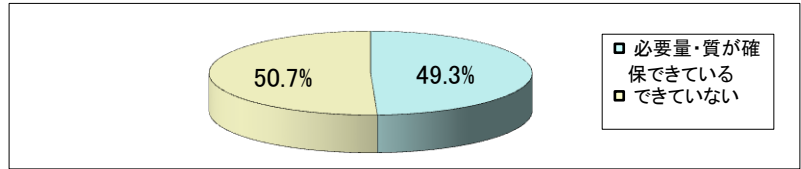
1. 転嫁できている (仕入価格上昇の100%)
2. ほぼ転嫁できている (" 80~100%程度)
3. ある程度転嫁できている (" 50~80%程度)
4. 多少転嫁できている (" 20~50%程度)
5. ほとんど転嫁できていない (" 0~20%程度)
6. 全く転嫁できていない (" 0%)
7. 転嫁どころか販売価格は低下している
8. 仕入価格は上昇していないので転嫁の必要なし
9. わからない



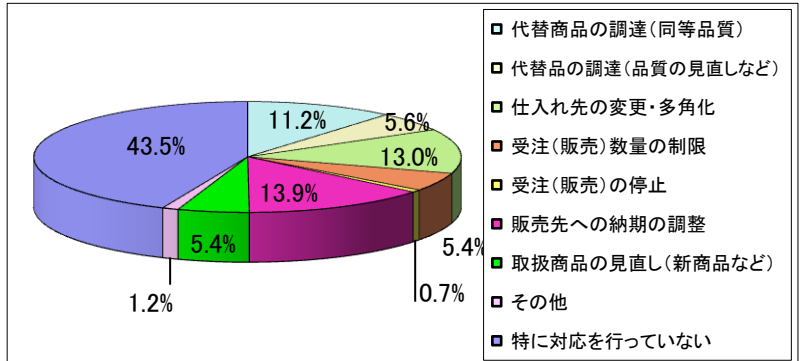
原材料・仕入価格の上昇のうち、どの程度を販売価格に転嫁できていますかについて、最も多い回答は「ほとんど転嫁できていない」20.0%、次いで「多少転嫁できている」15.6%、「ある程度転嫁できている」14.9%という結果となりました。

問4 原材料・仕入については、価格上昇のほか、調達遅延、数量確保困難などといった声も聞かれています。貴社では、各種資材や製商品の量や質は確保できていますか。確保できているという方は1を、問題を抱えている方は現在行っている対策を2~0の中から最大3つまで選んでお答えください。

1. 必要量・質が確保できている
(値上げによる調達を含む)
- a. できていない



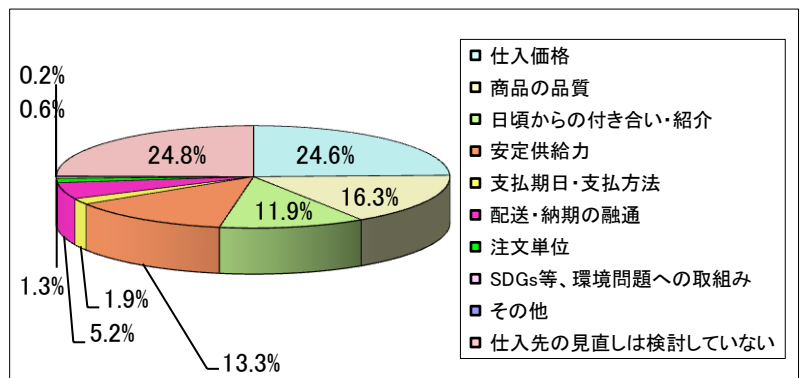
2. 代替商品の調達 (同等品質)
3. 代替品の調達 (品質の見直しなど)
4. 仕入れ先の変更・多角化
5. 受注 (販売) 数量の制限
6. 受注 (販売) の停止
7. 販売先への納期の調整
8. 取扱商品の見直し (新商品など)
9. その他
0. 特に対応を行っていない



原材料・仕入については、価格上昇のほか、調達遅延、数量確保困難などといった声も聞かれています。貴社では、各種資材や製商品の量や質は確保できていますかについて「必要量・質が確保できている」は49.3%、「できていない」は50.7%でした。必要量・質が確保できていない方が現在行っている対策で最も多い回答は「特に対応を行っていない」43.5%、次いで「販売先への納期の調整」13.9%、「仕入れ先の変更・多角化」13.0%という結果となりました。

問5 仕入の困難化に伴い、仕入先を見直す動きも出ています。貴社では、仕入先の見直し等を検討するにあたって、重視する点はありますか。1~0の中から最大3つまで選んでお答えください。

1. 仕入価格
2. 商品の品質
3. 日頃からの付き合い・紹介
4. 安定供給力
5. 支払期日・支払方法
6. 配送・納期の融通
7. 注文単位
8. SDGs等、環境問題への取組み
9. その他
0. 仕入先の見直しは検討していない



仕入の困難化に伴い、仕入先を見直す動きも出ています。貴社では、仕入先の見直し等を検討するにあたって、重視する点はありますかについて、最も多い回答は「仕入先の見直しは検討していない」24.8%、次いで「仕入価格」24.6%、「商品の品質」16.3%でした。